



# 土木・建築用エポキシ樹脂

JAIA F☆☆☆☆

# ボルトメイト®エポシール ES-1000

ボルトメイトエポシールES-1000は、橋脚などの耐震補強の鋼板巻立て工法用シール材として、注入用エポキシ樹脂：ボルトメイトエポEP-1200と共に使用されており、さらにカーボン繊維、及びアラミド繊維巻立て補強用の下地不陸修正材としても使用できるパテ状土木建築用エポキシ樹脂です。

## 特長

- 注入作業時のシール効果に優れ、液漏れ等は殆どありません。
- コンクリート及び鋼板に対する強い接着性を示します。
- 物理的、機械的強度に優れています。
- 揮発成分を含まず、高品質のフィラーの採用により、硬化時にほとんど収縮しません。
- 硬化物は、耐水性、耐薬品性など耐久性に優れています。

## 用途

- コンクリート橋脚鋼板巻き立て補強工法用シール材
- カーボン・アラミド繊維補強工法用不陸修正材
- アンカー注入用シール材
- クラック注入工法用シール材
- コンクリートへの金物(落橋防止ブラケットなど)の接着
- その他土木・建築用のコンクリート、鋼板などの接着

## 性状

	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	変性ポリアミン
外観	白色パテ状	灰色パテ状
混合比	主剤:硬化剤=2:1(質量比)	

## 荷姿

	質量(kg)
主剤	6.67
硬化剤	3.33



## 硬化物物性

項目	試験方法	単位	規格値
比重(硬化物)	JIS K 7112	—	1.70±0.20
可使時間	温度上昇法	分	30以上
圧縮強さ	JIS K 7181	N/mm <sup>2</sup>	50以上
曲げ強さ	JIS K 7171	N/mm <sup>2</sup>	20以上
引張せん断強さ	JIS K 6850	N/mm <sup>2</sup>	10以上
圧縮弾性係数	JIS K 7181	N/mm <sup>2</sup>	1000以上
コンクリート付着強さ	JIS K 5600	N/mm <sup>2</sup>	2.0以上

## 可使時間と硬化時間

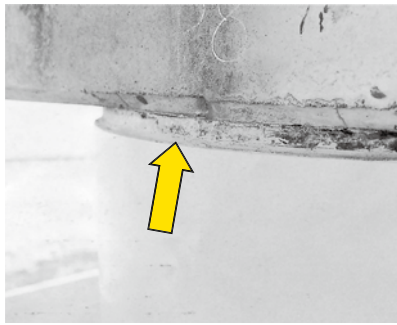
項目		5℃	10℃	20℃	30℃	35℃
		可使時間	S — W 170分	180分 90分	94分 45分	50分 —
初期硬化時間	S	—	26時間	12時間	6時間	4時間
	W	24時間	12時間	6時間	—	—
硬化時間	S	—	7日	5日	3日	2日
	W	7日	5日	3日	—	—

- ◇ 可使時間は、雰囲気、母材、樹脂、アンカー筋の中で最も高い温度、硬化時間は最も低い温度を目安して下さい。
- ◇ 初期硬化時間内はアンカー筋に触れないで下さい。
- ◇ 5℃未満では硬化しない恐れがありますので、使用しないで下さい。
- ◇ 可使時間:樹脂量 300g での温度上昇法による試験値

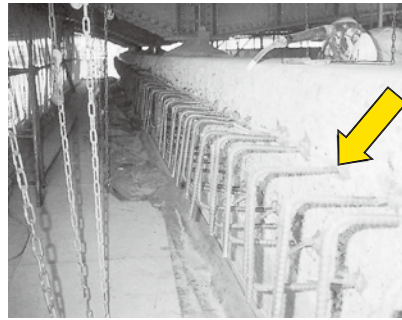
◇S:夏用、W:冬用

前田工織株式会社

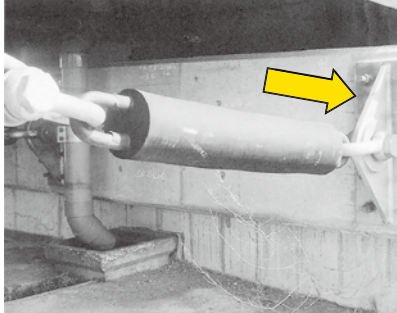
## 施工例



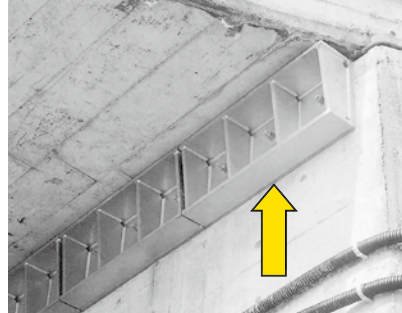
鋼板巻立て工法用シール材



エポキシ注入により鉄筋を定着する場合のシール材



落橋防止装置台座の接着



落橋防止用ブラケットの接着

## 施工手順

1. 主材と硬化剤を2:1(質量比)の割合で計量する(必ず、秤(はかり)を使用すること)。  
※1回の攪拌量は、可使時間内で使い切る量にとどめること。
2. 色が均一になるまでへらなどで十分に混合攪拌する。  
※製品温度が低いときは攪拌しにくいので、お湯などで間接的に30℃程度まで加温して使用してください。
3. 塗布面の油などの汚れ、水分、レイタンスなどを良く取り除いて、へら、コテなどで塗布する。  
※使い残しがある場合は、缶のふたをしっかりと閉めて保管してください。

## 保管及び取り扱い上の注意事項

- 冷暗所に保管して下さい。(40℃以上には絶対にしないで下さい。)
- 使用中を含め、火気や高温物に近づけないで下さい。
- 狭い場所で作業する場合には、換気に気をつけて下さい。
- 取り扱い時には、必ず保護具(マスク、保護メガネ、手袋など)を着用して下さい。
- 樹脂が皮膚などに付着すると、炎症を起こすことがあります。速やかに拭き取り、石鹼水で洗い流して下さい。
- 目に入った場合は、直ちに大量の水道水で15分以上洗い落とし、医師の診断を受けて下さい。
- 機具類に付着した樹脂は、硬化する前にシンナー類で拭き取って下さい。

製造・発売元

## 前田工織株式会社

東京本社 / 〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9-9

東京営業部 ユニゾ久松町清洲橋通りビル5F

TEL.03-3663-9936 FAX.03-3663-9930

福井本社 / 〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3

TEL.0776-51-3535 FAX.0776-51-3545

福井営業部 / TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236

札幌支店 / TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365

仙台支店 / TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671

新潟支店 / TEL.025-250-7803 FAX.025-250-7806

名古屋支店 / TEL.052-971-8020 FAX.052-971-8021

大阪支店 / TEL.06-6201-0313 FAX.06-6201-0668

広島支店 / TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565

四国支店 / TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511

福岡支店 / TEL.092-919-5155 FAX.092-919-5150

盛岡営業所 / TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078

金沢営業所 / TEL.076-288-6077 FAX.076-288-6078

沖縄営業所 / TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418

岡山事務所 / TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357

鹿児島事務所 / TEL.099-295-3226 FAX.099-295-3256

<http://www.maedakosen.jp/mdk>

※カタログ及び仕様等は予告なく変更することがあります。

C.1707.20.0209